

2008 年度

科目名	対象学科・学年 教育教福 2 回生	担当者
保育内容（造形表現）		坂口 希巳子
授業テーマ ・造形表現に関する知識技能と指導法を修得する。		
授業の概要と目標 日々の保育活動においては、幼児一人一人の豊かな感性を育て、感じたことや考えたことを素直に表現する能力を高めることが求められている。本授業では、「表現領域」のうちの「造形表現」についてその意義や指導の在り方の修得を図る。		
評価方法 ・出席状況・課題レポート・作品製作・保育指導案の作成・学習自己評価票・期末テスト等により総合的に評価する。		
テキスト ・「造形表現」 理論・実践編	著者 ・花簾實・岡田愨吾	出版社 ・三晃書房
参考書 ・適時紹介する。 ・担当教員から学習資料を提出する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容		
1 造形表現力の発達	・造形表現に見られる成長過程	
2	・幼児の特徴的な造形表現様式	
3 幼稚園教育要領と「表現」領域	・表現遊びのねらいと内容	
4 幼児の「遊び」と造形表現		
5 「造形表現」指導	・「造形表現」指導の原理と今日的課題	
6	・造形表現の取り組みと保育者の役割、援助の在り方	
7	・造形表現を促す材料用具の内容と活用の工夫	
8 「造形表現」内容の研究と実技	・操作を楽しむ表現遊び	
9	・材料から思いついてする表現遊び	
10	・目的的な表現遊び	
11 保育指導案の作成	・保育指導案の骨子づくり ・導入の工夫	
12	・指導案の各項目の意味と書き方	
13	・保育指導案の作成	
14 幼児の美術教育思潮（造形教育の流れ）		
15 「まとめ」とテスト		
＜備考＞ 保育内容（造形表現）で作成した自作資料は、教育実習時の教材研究や教員採用試験準備に有効な資料となる。		